

第6回中学生交流プログラム
【インドネシア（招聘）】

平成26年11月9日～11月17日

使節団招聘実施報告書

平成26年12月19日



一般社団法人国際フレンドシップ協会

インドネシア共和国セント・ヨセフ中学校（デンパサール）
7名の代表生徒、引率教員1名の訪日研修



駐日インドネシア共和国大使館 Widani Sayuoka 一等書記官表敬訪問

日本事情オリエンテーション（講義と都内視察（地下鉄、竹下通り））



国立中学校、朝礼、クラス見学（科学と柔道）



公立中学校 給食、英語クラス参加、書道体験



交流会でインドネシアを紹介(スライド、歌、踊り)、日本の生徒と一緒に歌い語る



企業訪問・食文化・京都の秋



日本で体験 (参拝、着付・茶道、友禅染め)



ホストファミリーとの出会いと別れ



9 口絵 (1)~(2)

も く じ

まえがき

I. 「第6 中学生交流プログラム」について	2
II. インドネシア中学生の訪問日程	3
III. 団員名簿	4
IV. 団員の感想	5
V. ホストファミリーの感想	9

奥付

まえがき

「第6回中学生交流プログラム」(インドネシアからの中学生招聘)は、公益財団法人かめのり財団の支援を得て、一般社団法人国際フレンドシップ協会が企画実施運営を行い、インドネシア日本語教師会のご協力の下、デンパサール(バリ島)のSMPサント・ヨセフ中学校から7名の中学生と引率教員1名を招聘しました。

本プログラムはインドネシア中学生の日本研修と位置づけ、9日間の日本の社会研修、中学校での交流、都内ならびに京都視察、ホームステイなどを行いました。本小冊子では、記録として日程、感想文などを取りまとめました。

本交流事業にご協力いただいた関係者ならびにホストファミリーの皆様には、この記録により、訪日したインドネシアの中学生たちとの心温まる交流の時間を思い出していただく機会になれば幸いです。

Web等を通じて本小冊子をご覧になれる皆様には、インドネシアとインドネシアの中学生、人々を身近に感じ、興味をもつ機会となり、さらにはご自身の国際交流について考えるきっかけになればと、スタッフ一同心より願っております。

2014年12月

一般社団法人国際フレンドシップ協会

I. 第6回中学生交流プログラムについて

一般社団法人国際フレンドシップ協会（IFA）では、30年間、「ジュニア大使友情使節団」（小学5年生から20歳未満の学生）の海外派遣を訪問先公的機関の後援で行っており、その経験により、「中学生交流プログラム」の企画・実施運営を平成22年度から行っています。IFAはまた、23加盟国・地域から成る、アジア・太平洋国会議員連合（APPU; ASIAN-PACIFIC PARLIAMENTARIANS' UNION）中央事務局の運営を行っており、日本とアジア・太平洋地区の友好、交流の促進のために活動しています。

「中学生交流プログラム」は、公益財団法人かめのり財団（財団名は、創設者の康本健守〈やすもとけんもり〉の父・亀範〈かめのり〉に由来する）の活動資金をいただいています。同財団の活動目的は、日本とアジア・オセアニアの若い世代との交流を通じて、未来にわたり日本と各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となる人材の育成を図ることにあります。

第1回中学生プログラムは、平成22年3月、中国に中学生7名、第2回（平成22年10月）に中学生8名を韓国に、第3回（平成23年10月）は中学生5名をマレーシアに派遣しました。第4回よりは招聘も開始し、平成24年10月に台湾に日本の中学生7名を派遣、翌月11月には台湾より中学生8名を招聘、第5回も同様に平成25年10月にベトナムに8名の日本の中学生を派遣し、翌11月にはベトナム中学生8名を日本研修に招きました。

今年度の第6回は、近年日本との友好協力関係が増しているインドネシアに、一般公募により選抜した日本の中学生を派遣するとともに、インドネシアの中学生を日本に招聘しました。インドネシアへの派遣では、同世代の少年少女や現地の人たちと様々な形で交流し、相互理解を図るとともに、外国語を学ぶことの意義や異なる文化の中でのコミュニケーションの重要性、インドネシアの歴史、社会、文化等に対する理解を深めてきました。また、インドネシア中学生招聘では、日本人、日本の社会に対する理解を深めてもらいます。

■関係機関

実施	一般社団法人国際フレンドシップ協会
支援	公益財団法人かめのり財団
協力	インドネシア日本語教師会

■実施期間

<派遣>	平成26年10月5日（日）前泊（事前研修） 平成26年10月6日（月）～12日（日）海外研修、全7泊8日
<招聘>	平成26年11月9日（日）～17日（月）全8泊9日

■団員

<派遣>	7名、日本の中学生（全国公募、書類・面接審査を経て団員決定）
<招聘>	7名、インドネシアの中学生（派遣団の受入中学校生徒）

II. インドネシア中学生の訪問日程

NO	月日	時間	都市	内容	宿泊先
1	11/9 (日)	夜 早朝	バリ島 羽田	デンパサール発 東京国際空港(羽田)着 入国審査後、専用車で都内へ 都内見学(浅草、車窓よりスカイツリー、原宿) ホテル着後、チェックイン、資料配付	東京 ホテル(3泊)
2	11/10 (月)	午前 午後	東京	オリエンテーション、滞日ブリーフィング 日本事情講義①日本の生活習慣 日本事情講義②日本人理解のヒント 在京インドネシア大使館表敬訪問 都内見学	
3	11/11 (火)	午前 夕刻	東京	都内中学校訪問 歓迎・交流会(於:都内会場)	
4	11/12 (水)	午前 午後	東京 京都	パナソニックセンター東京 見学 東京発、 京都へ移動(のぞみ229号) 清水寺、八坂神社拝観他、見学	京都 ホテル(2泊)
5	11/13 (木)	終日	京都	友禅染体験 二条城、錦市場 着付け・茶道体験 金閣寺等見学	
6	11/14 (金)	午前 午後	京都 東京	朝食後ホテル発 京都発(のぞみ10号) ホストファミリーと対面式(自己紹介、諸注意) ホストファミリーとともに各家庭へ ホームステイ	ホームステイ (2泊)
7	11/15 (土)	終日	東京及 び近郊	ホームステイ	
8	11/16 (日)	午前 15:00	東京及 び近郊	ホームステイ 昼食後、ホストファミリーと共にホテル集合 お別れ後、アンケート、レポート作成	東京 ホテル(1泊)
9	11/17 (月)	午前 夕刻	東京 羽田 バリ島	ホテル発 東京国際空港(羽田)発 デンパサール着	

Ⅲ. 団員名簿

NO	Photo	Name	Sex	Age	Calling Name	Grade
1		Grathia Putri Millana	F	14	グラティア	9th 3年
2		Aurelia Jenifer Soewono	F	14	ジェニファー	9th 3年
3		Felisca Chevonee	F	14	フェリスカ	9th 3年
4		Yohana Henriette Wibertha	F	14	ヨアン	9th 3年
5		Irene Akhsa Kurniawan	F	14	イレン	9th 3年
6		Russell Raimundo Harypratama	M	13	ラッセル	8th 2年
7		Arnold William Tristante	M	13	アーノルド	8th 2年
8		【引率】 Ni Luh Putu Agustini	F		アグスティン	教員

IV. 団員の感想

Grathia Putri Millana (グラティア) 14歳 (女)

最初に羽田空港に着いたとき、素晴らしい景色ときれいな空気、そして香りがしてとても幸せな気持ちになりました。最初に浅草に行くと小さな子が着物を着ていました。七五三の5歳のお祝いとのことでした。次に行った原宿では、クールなブロガーや素敵でスタイリッシュな服装の人がたくさんいてショッピングをしていて驚きました。

2日目はホテルで研修でしたが、日本の習慣や文化をたくさん学び、とても興味深かったです。午後はインドネシア大使館に行きました。私は外交官になりたいと思っているのでとても嬉しかったです。その後、東京タワーでは降っていた雨も止み、展望台からの眺めは信じられないほど素晴らしかったです。東京中の店や建物を見ました。

3日目は国立大学附属中学校に行きました。とても広く多くの生徒と直接、話ができ嬉しかったです。午後は公立の中学校で先生も生徒もとても優しくフレンドリーで楽しかったです。夕方は、歓迎交流会で、最初は少し緊張しましたが、慣れてくると皆で話したり踊ったりと楽しかったです。

4日目、パナソニックセンターに行くと、日本の技術のすごさに圧倒されました。その後、京都に行きました。5日目の京都では、友禅染は楽しくて、二条城の見学では将軍のことも学びました。着物も着せてもらい、茶道も経験できました。

6日目、いよいよホームステイです。家族の一人ひとりが優しく家族の一員として迎えてくれました。お別れのときは本当に悲しくなりました。

日本に来る前に、多くの人から日本ではいじめられるかもしれないと言われたのですが、そうしたことは全く当たっておらず、真実ではないとわかりました。日本はきれいで豊かな文化があり人々はとても優しいです。直接、会って話してよくわかりました。

Aurelia Jenifer Soewono (ジェニファー) 14歳 (女)

日本ではトイレがどこでもとてもきれいで自動になっているのに驚きました。また、インドネシアでは「アニメの街」、「あきはばら」などはありませんが、日本にはそうしたアニメの店があるので、私のような子どもにとってはとても嬉しかったです。日本の食べ物もおいしくて、ラーメン、すし、さしみ、そしてサラダが大好きになりました。

学校訪問では、校舎がとてもきれいで生徒たちが皆、親切で明るく楽しい感じでした。また会いたいですし、私たちのことを覚えていて欲しいと思います。

電車についてですが、テレビで見ていると切符は窓口で買うのが一般的だと思っていたのですが、日本では機械で切符を買うのを見て本当に驚きました。

日本の人はとても親切で、どんなに小さなことでも、もしくは大きなことでも私たちを手助けしてくれました。IFA とホストファミリー、そしてすべての皆さんに、私そして私の友だちをお世話くださったことに感謝いたします。私もこれからできるだけ、人に親切にしたいと思います。

Felisca Chevonee (フェリスカ) 14 歳 (女)

子どものころから日本に行くことは私の夢でした。日本に来られて本当に本当に幸せです。日本からたくさんの刺激を受けました。小学校のときに日本の学校に行きたいと思っていましたが、今回の交流プログラムに参加して、本当に日本の大学に行こうと思っています。

私のホストファミリー家族と過ごせてとても幸せでした。私にいろいろな経験をさせてくれました。お風呂、ふとん、たたみ、すき焼き、カツなどたくさんあります。パパとママはとてもやさしくて、ママはお料理がとてもうまい。めいこもお兄さんもお姉さんも私のことを家族の一員として迎えてくれて、本当に親切にしてくれました。決してこのことを生涯忘れません。この気持ちは言葉には表せません。

「じゃぱんはほんとうにすごい」また来たいです。そして着物を着て茶道をもう一度します。ありがとうございました。

Yohana Henriette Wibertha (ヨアン) 14 歳 (女)

最初に、私たち生徒を交流プログラムに選んでくださりありがとうございます。これまで生きてきて 1 番の経験をさせていただきました。生涯忘れないでしょう。4 歳のとき、ドラえもんを見たくて、日本に行きたいと思っていました。その夢を叶えてくれたのです。日本はとても綺麗です。街並み、寺、公園、ショッピングの店、塔、ビル、何もかもです。実際の日本はテレビで少し見ただけでは分からない、荘厳な感じがしました。

とても素晴らしい研修でした。何しろたくさんものを見て知ることができました。その中でも食事は、★★★★★。10 点満点の 11 点です。気候がとても寒かったですが、それを楽しめました。いい景色、木々。葉々、「すごい!!」

ホームステイでは日本語や日本の生活スタイルを学び、日本料理の作り方も教えてもらいました。とても有り難い経験でした。私の家族と一緒にいつかまた日本を訪れたいです。

東京で一番の場所： 原宿、ディズニーランド

東京で一番の食物： ラーメン、すし、さしみ、ほか全部!!

京都で一番の食物： お好み焼き

京都で一番の場所： 清水寺、その広大さ!

インドネシアに帰ったら、この経験を友だちや家族に伝えます。そしてこのプログラムに参加できたので、もっと勉強して日本の大学に来られるといいです! もう一度、「ほんとう ありがとうございます!」また将来、お会いできますように。

「日本はすごい!」、「日本は素晴らしい国です!!」

Irene Akhsa Kurniawan (イレン) 14歳 (女)

このプログラムに参加できて本当に幸せです。

- 1日目：電車の切符をどうか教えてもらいました。そして電車に乗って東京タワーに行ったことが嬉しかったです。
- 2日目：インドネシア大使館で日本に住むインドネシアの方と話すことができました。よかったです。
- 3日目：国立大学附属中学校に行き、毎日どのように生徒が学校で過ごしているかを見学しました。午後は、公立の中学校で授業に参加し、生徒との交流ができて嬉しかったです。

京都もよかったですし、ホームステイでは心から幸せだと思いました。

日本に来る前に、コミュニケーションがとれるかどうか心配しました。また、日本の伝統的なことや習慣に対して少し怖さもありました。でも来てみると心配していたことが信じられないほど、何の問題もなくすべてが良かったです。

Russell Raimundo Harypratama (ラッセル) 13歳 (男)

こんなに幸せな日本の滞在ができて神様に感謝しています。日本のさまざまなところを見学でき、実際に体験もし、こんなに素晴らしいことはありません。

ホストファミリーとは、自転車に乗ることもでき、バトミントンもしました。テレビを見て、日本に住んでいるインドネシアの学生とも会って話をすることができました。私の家族はいろいろな国の人と交流しています。インドネシア、韓国、スペインなど、そのそれぞれの言葉も学べて嬉しかったです。

中学校はとてもきれいで、生徒は礼儀正しくて、正直、そして規律を守っていました。先生方はとても面白く英語の授業も楽しかったです。給食もおいしかったです。

日本の建物や伝統行事についても学びましたが、中でも千年前と思われる壁には驚きました。日本での経験を私の家族や先生、その他の人にも伝えます。

このプログラムに関わったすべての皆さんに感謝します。大きくなったら日本に住みたいです。最後にもう一度、本当にありがとうございました。

Arnold William Tristante (アーノルド) 13歳 (男)

日本に來られて安全に過すことができるととても幸せです。こうした機会を与えてくださりありがとうございました。

小学校 6 年のときから日本のアニメと食べ物が好きになり、日本に行きたいと思っていました。その夢がかなって本当に嬉しいです。今回は研修なのでいろいろなところに行き、日本の伝統文化も学ぶことができました。

その中で、私のホストファミリーに出会えて嬉しかったです。素晴らしい家族で、行きたいところに連れて行ってきて、ボウリングもして新しい友だちもできました。お料理もおいしくて、好きな食べ物を食べさせてもらいました。

ぜひ、もう一度、日本に來たいです。日本の文化、日本語、日々の暮らしなどを学んで、日本中を回りたいです。

Ni Luh Putu Agustini (アグスティン) 引率教師 (女)

まず最初に、こうして日本を訪問させていただいたことに感謝いたします。

とても多くの経験をさせていただき、日本についてたくさん学び、大変幸せに思います。

日本はとてもきれいな国です。交通手段もとても機能的です。例えば、JR、新幹線、タクシー、バス、どこに行っても駅があります。切符も自動販売機で買って、飲物までも自動販売機で買えるのです。とても実用的でモダンです。

日本のトイレは公共の場のトイレでもとても綺麗でした。パナソニックセンターではボタン式のトイレで、自動でふたがあきました。これには驚きました。他にも多くの技術について体感できました。技術とともに数学も科学も学べたと思います。

朝、多くの人たちが職場に歩いているのを見て、蟻のようだと思いました。またラッシュアワーの駅はすごく混んでいましたが、皆、当たり前前に並んでいました。文盲の人や車椅子の方のための特別なスペースもありました。

日本には特別な趣味の物を見たり買ったりする場所があります。例えば、秋葉原や竹下通りです。これも初めての経験です。

たくさんの日本料理も食べました。セットメニューも何種類もあります。例えば、そば、ご飯、何種類ものソースとサラダなどで、量も多くて食べきれませんでした。初めてだったお箸も使えるようになりました。

京都では友禅染、着物、茶道、とそれぞれにとっても興味深い経験でした。清水寺と金閣寺に本当に素晴らしかったです。その他にも言い足りません。

ホームステイでは日本の家庭で過ごせて本当に幸せでした。とても素敵なご家族でした。さようならと言わなければならなくてとても悲しかったです。貴重な経験をありがとうございました。

V. ホストファミリーの感想

とても穏やかな印象を受けました。初めてのことでしたが、家族みんなとてもいい経験ができたと思います。小学生の弟 2 人も何かとコミュニケーションをとろうとがんばって英語を話そうとしていました。

(神奈川県・中 2、小 5、小 3 生徒家庭)

ジェニファーが遠慮してこちらに合わせてくれたのか、一緒にいる間、言葉以外、ジェニファーがインドネシアの生徒ということのを忘れるほどでした。食事のときに宗教、信仰を感じました。また、祖父の仏壇に私たちが手を合わせていると、何か聞いてきて、私もいいですかと手を合わせてくれました。ジェニファーのやさしさ、思いやりが心にジーンとしました。

(東京都・中 1 と小 5 生徒家庭)

日本との交流や経済的な結びつきが強くなってきている東南アジアの国のお子様ということで、娘と親しくなれることを望んでおりました。期待通りに娘とは素晴らしい友だちになれたと思います。互いの異文化体験を通じて本人たちが末永く友だちでいられることを望んでおります。

中学生の交流事業ではありますが、ホームステイを受け入れする家庭にも、通常はできない経験をさせていただけたと思います。やはり、異文化というものを理解し尊重すべきであることを改めて再認識するいい機会でありました。

(神奈川県・大 2、高 3、中 3 生徒家庭)

英語でわからないこともたくさんあったけれど、一緒に行動できてとってもとっても楽しかったです。身ぶり手ぶりで何とか伝わりました。おふろの入りの違いに驚きました。シャワーを浴びるのが 2 日に 1 回である顔は洗うだけと言っていて、「日本とインドネシアではこんなに違うのか…」ととても驚きました。わからない英語もたくさんあって、おたがいにとまどうこともたくさんありましたが、ヨアンちゃんが家に来てくれた時間は本当に楽しかったです。宝物です。私のカタコト英語もがんばって理解してくれて本当にうれしかったです。こんな体験が中学生のうちにできるなんて、私は幸せ者だとすごく感じています。また、ホームステイを受けたいと思ったし、インドネシアについてももっとたくさん知りたいと思いました。(ホスト生徒)

我が家は海外旅行の経験すらなく、このような国際交流は縁遠いものと思っておりました。実際、私たちが言葉もほとんど理解できない中、彼女が楽しめたのかどうかわかりませんが、ヨアンにとってもうちの娘にとっても良い経験

となり、将来の糧となってくれば幸いです。

(東京都・中1生徒家庭)

子どもたちにとって、外国人を身近に感じる事ができてとても良い経験になったと思います。娘との会話、5歳、7歳の妹弟とのコミュニケーションが心配でしたが、中学生同士は時間とともに親しくなり、下の子どもたちとはイレンが小さい子好きだったようなので、会話がなくともお互いにニコニコしていて良かったです。イレンは笑顔が多く、控え目で、コミュニケーションがとりやすく有り難かったです。また優しくまじめな女の子ながら、楽しい面も出してくれたので、子どもたちは、「もっと長く、イレンにいて欲しかった」と言っています。帰国後もLINEを通じて連絡を取り合っているようです。

(東京都・中1と小2、5歳児家庭)

とても穏やかで、大勢の場に連れて行っても笑顔を絶やさず、素直に受け応えてくれたり楽しんでくれました。息子とも同じ年で言葉が通じないながらもお互いにコミュニケーションをとろうと楽しんでくれました。いろいろな国の方と個人レベルで交流を続けていくことは地味なことですが、基盤を作るのに本当に大切なことだと思います。違いを理解し合い、その中にも同じを見つけて行く、そんなお手伝いが今後もしできればいいと思っております。

(東京都・中1生徒家庭)

うちで大丈夫なのかと心配でしたが、なんとか無事に遂行できました。貴重な体験でした。特に子どもたちのコミュニケーション能力の高さに感動しました。自分の子ながら、積極的に英語で話そうとしていて感心しました。私自身もこの3日間、懸命に英会話に挑戦し、改めて英語の勉強をし直してみたいと思いました。日本にいるのになぜか、不思議と海外旅行をしているような気分でした。

(東京都・中1生徒家庭)

インドネシアの文化や生活、さらに以前より訪ねたかったバリ島の話等が聞けて大変よかったです。宗教や食事、どんな経験をしてみたいのかなど、心配でしたが、特に問題なく過ごしていただけたと思います。アグスティンさんは、礼儀正しく、優しく明るくてとてもSweetな方でした。異文化に触れて家族で良い経験になりました。

(東京都・大学2年、高3生徒家庭)

第 6 回中学生交流プログラム（インドネシア中学生招聘）報告書

平成 26 年 12 月 19 日

実施・運営 一般社団法人国際フレンドシップ協会

〒106-0041 東京都港区麻布台 3-4-12

麻布台ロイヤルプラザ 502 号

実施責任者 及川 伊佐子

電話 03(3582)3021 FAX 03(3582)3010

Web: <http://www.ifa-japan.org>